

＼岡山市発／

協働で社会をよくする仕組み、紹介マガジン



# 協働 通信

Vol.1 2018.10

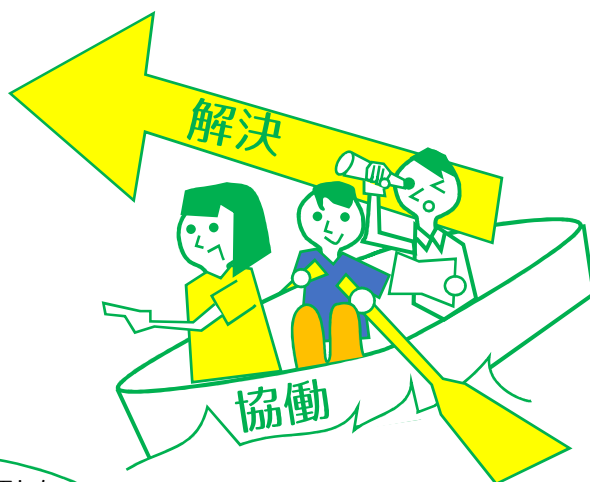
- P.2 つながって社会課題を解決する方法
- P.3 ESDについて考える
- P.4 平成30年度市民協働モデル事業紹介
- P.6 課題解決ワークショップって知ってる？
- P.8 ESD・市民協働推進センター紹介

# つながって社会課題を解決する方法

社会が抱える課題は深刻さと複雑さを増しています。それらの課題を解決していくには、行政だけではなく、一人一人の市民や様々な組織が知恵を出し合い、役割を分担して解決に向けた取組を進めていく必要があります。

このように同じ目的を達成するために、互いを尊重し、対等な立場で協力してともに働くことを「協働」と呼んでおり、岡山市の持続可能性を高めるためには欠かせることのできない手法であると言えます。

この冊子では、「社会をもっとよくするためにつなげて課題の解決を行う」協働の事例や仕組みを紹介します！



岡山市協働の  
まちづくり  
条例

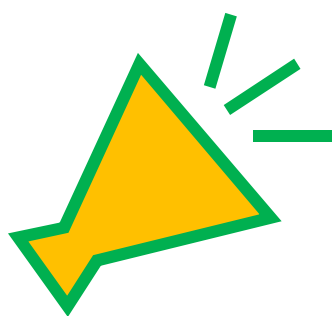
2016.04改正

岡山市には市民と行政がともに考え、改正した「**岡山市協働のまちづくり条例**」があります。第一条において、協働の目的は「多様な主体が地域づくりの当事者としてそれぞれの知恵と力を最大限に生かし、協働して地域の社会課題解決に関する取組を行うための基本原則等を定めることにより、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現すること」と規定されています。

## 協働の実施報告！！

平成29年度岡山市市民協働推進モデル事業&ニーズ調査事業

「ビフォー⇒アフター報告会」開催！



岡山市では毎年、官民による協働事業の実践報告の機会を設けています。

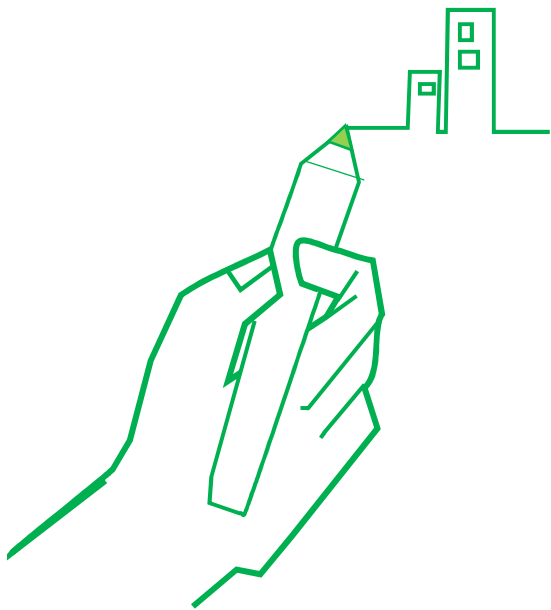
平成30年は6月27日に岡山市勤労者福祉センターにて平成29年度に実施された市民協働推進モデル事業（8事業）とニーズ調査事業（4事業）の報告会を実施して、97名にご参加いただきました。

内容は「なにをしたか」だけではなく、事業前（ビフォー）と実施後（アフター）で「なにがどう変化したか」にポイントを置いて報告をいただいたあと、ディスカッションや質疑応答を通じて参加者とともに理解を深めました。



# ESD Education for Sustainable Development

「持続可能な開発のための教育」 について考える



少子高齢化に伴うコミュニティの崩壊、インフラの老朽化、資源の枯渇・・・私たちを取り巻く環境やしくみは「いつまでも存在する」ものではなく「すぐに取り戻せるもの」でもありません。私たちの子どもやその子どもの世代、など未来へ安心して暮らせる社会を残すためには社会を少しずつもっとよい方向へ導いていく必要があります。

ESDは「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

つまりもっとよい未来について思いをはせるとともに、その思いやもっとよい未来を実現するための取組を次世代に引き継いでいくことと言えば少しは伝わりやすくなるかもしれせん。

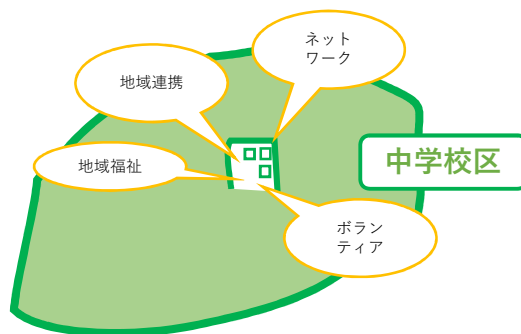
## 地域で担い手を育てるために！！ ESDの現場で活躍する「公民館職員研修」

岡山市「協働のまちづくり条例」では第6条（協働推進施策）に「（1）地域の拠点機能及びその拠点のコーディネート機能の強化を進めること。」と規定されており、現在、この地域拠点として機能強化が進められているのが「公民館」になります。

岡山市の公民館は中学校区に1館設置されており「自分の住む地域の最も身近な公共空間」と言えます。

それは一部公的サービスの窓口という意味や社会教育・文化的活動の創出・発信・共有の拠点という意味だけではなく、地域の課題解決や協働の拠点であるという意味が含まれています。

ESD・市民協働推進センターでは、より地域に近い場所で人材・物品・情報などの資源が結びつけられ、解決のための協働事業が生まれるような環境をつくるために、コーディネーターとなる職員の研修に携わり、同志を増やしています。



公民館＝地域のフラットフォーム！



▲公民館研修の様子

# 平成30年度 市民協働モデル事業

協働によってより効果的に課題解決がすすむ事業を公募し、補助金を交付し、岡山市との協働で実施しています。  
実施後は市の一般施策となったり、あるいは団体の公益事業として自立していくなど、ひきつづき課題解決が続くことを目指します。

## 岡山操車場跡地にできる新公園を市民の手で活用していくためのモデル実施事業

岡山市では市民や行政など様々な主体が協働して公園のマネジメントを行う「パークマネジメント」の導入を推進し、現在JR北長瀬駅前の操車場跡地で整備中の新公園においてパークマネジメント準備会を立ち上げることを目指しています。

また、この公園をもっと市民が活用できる場にしたいという思いを持った市民を中心に市と協働で公園活用のためのアンケート調査や「新公園を活用する市民の会」を立ち上げました。公園活用への課題の把握、分析とモデルプロジェクトを実践的にを行い、検証することで市民の会の自主的な活動の認知とパークマネジメントの理解につなげていきます。

### (事業内容)

公園の活用に関する具体像として3つのテーマを設定し、市民主体の取組モデル実施  
パークマネジメント導入にあたっての課題や活用の際に必要なデータ収集

くらしのたね

庭園都市推進課



▲操車場跡地でパークマネジメントの実践。(5月27日)

## 住まいと暮らしに困りごとを抱えている人の 居住定着を目指す相互支援・相談支援事業

- ・地域の誰もが気軽に集えるサロンを定期的で開催し、一緒に食事や会話をを楽しむことを通じて、何か困ったときに気軽に相談できるような地域のコミュニティづくりを目指します。
- ・支援が必要な課題には、専門スタッフがサポートします。

「うてんで食堂」 日時：毎月最終土曜日 11:30~14:00  
場所：うてんで（岡山市北区東古松2-2-9）  
参加費：おとな300円、こども無料

「岡輝みんな食堂」 日時：電話、メール、FBなどでお知らせ  
場所：岡輝公民館、清輝コミュニティハウス等  
参加費：高校生以上300円、中学生以下 無料 定員30名

「安楽亭」 日時：毎週土曜日 9:00~12:00  
場所：安楽亭（岡山市北区奥田本町2-6） 参加費：200円

それ  
公民館で  
それぞれが  
参加を呼び  
がチランを  
作成して、  
回覧板や

NPO法人岡山・ホームレス支援きずな

NPO法人おかやまUFE

一般社団法人ほっと岡山

生活保護・自立支援課

住宅課



## 西川エリアの魅力向上のための まち育て協議体の設立

～自然ロケーションと地域資源を融合した仕組みづくり～

近年西川緑道公園沿いエリアではロケーション人気が高まり、エリアのより良い環境や地域価値の維持向上が必要とされています。  
その第一歩として主力産業である飲食分野を切り口として、まずは飲食業同士の横のつながりを深めていき、エリア内での役割を共有し、今後のまち育ての仕組みを作るとともにハレノミーノやちどりあしといった民間事業者のイベントや西川パフォーマーやホコテン事業等の岡山市主導の官民協働事業と連携し、西川エリアの魅力向上を目指します。

西川エリア  
まち育て協議体

庭園都市推進課



▲フリーペーパー「ぶらっと西川」発行



▲飲食店などを対象にセミナーを開催（8月29日）

### (事業内容)

- ・西川エリア価値を高めるため行政や地域住民、公園利用者等と協力し、岡山中心市街地全体での西川エリアの役割とブランドイメージの明確化
- ・目的を持って西川エリアを訪れ、安心安全に飲食や街歩きを楽しみ、イベントに参加できるルールやツールの作成を行う



## 地域猫活動の普及啓発事業

特定非営利活動法人  
岡山ニャンとかし隊

保健所衛生課

平成29年度に実施した市民協働推進ニーズ調査「岡山市内町内会での所有者のいない猫に関するアンケート調査」を通じて明らかになった飼い主のいない猫による被害が比較的多い地域、地域猫活動に対する意欲や関心が高い地域に対して、地域猫活動の基礎知識を提供するための説明会を開催するとともに活動を開始するためのノウハウ提供や人材確保の伴走支援を行います。

実施団体と協働担当部署がそれぞれに有するノウハウや情報が集積されたパンフレットや動画が説明会でお披露目される予定です。



▲地域に周知と理解を得るための「地域猫活動支援事業」説明会

### (事業内容)

- ・ 飼い主のいない猫対策を地域で開始できるまでの導入パッケージの作成
- ・ 地域の飼い主のいない猫対策協力ボランティア団体を育成するために岡山市でボランティア募集をし、「地域猫活動ボランティア養成講座」を開催する
- ・ 地域猫活動へ参加希望があった地域へ「飼い主のいない猫対策」を開始できるよう岡山市保健所とともに支援・協力を実施する

## 石山公園パークマネジメント推進事業

特定非営利活動法人  
ENNOVAOKAYAMA

庭園都市推進課

平成29年度市民協働推進ニーズ調査事業で「石山公園のパークマネジメント推進のためのコンシェルジュ機能提案」を目的としたアンケート調査を実施し、観光・回遊の起点である石山公園において「ポテンシャルの活用」と「情報発信」の不足という課題がわかりました。それらの課題を魅力に変換し発展させ、「地域住民」「観光客」「イベント実施者」の3者にとって有用なツールや情報発信（収集）環境のブラッシュアップを行い、石山公園の整備事業及びパークマネジメント推進につなげていきます。



▲情報発信サイトを用いた、石山公園でのモニター調査

### (事業内容)

- ・ 石山公園の主な利用主体が求めるリアルタイムな情報と場のポテンシャルを生かした活用方法の発信と共に将来的に目指すパークマネジメントを取入れた公園運用についても発信することで市民の理解につなげる
- ・ 情報発信によって得られる利用者のニーズ等のデータを収集することで、より充実したサービスを備えた公園としてのパークマネジメント推進へつなげる

## 出前授業を起点とした、高校生・大学生による政治参画促進事業

特定非営利活動法人  
YouthCreate

選挙管理委員会  
事務局

「子どもや若者が対象となる政策や制度については子どもや若者の意見を聴くようにすべき」「私個人の力では政府の決定に影響を与えられない」と答える若者が6割以上を占めています。

※平成25年度我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（内閣府）家庭や学校など日常に政治に関心を持つ「きっかけ」が多くあり、同世代や多世代で共に政治に関する話が当たり前に行える社会を、さらに自分たちの声が政治・行政の議論の場に選挙以外の方法によっても届く街を目指します。



▲若者が街や政治について発信するための集まりの様子

### (事業内容)

- ・ 高校での大学生による出前授業の実施
- ・ 高校生と大学生が共に街や政治の事を調べてまとめたWASAOレターを主体的に実施
- ・ WASAOレターを高校や大学へ展開し、感想や意見をまとめて行政へ届け、回答を得る

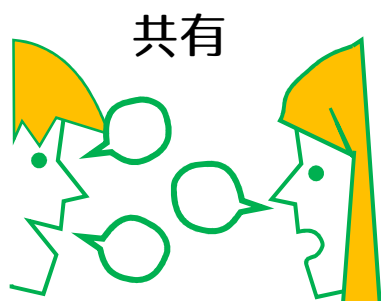
## 31年度事業の募集について

平成31年度市民協働モデル事業の募集は2018年10月から1月にかけて募集をする予定です。

詳細については岡山市サイト「つながる協働ひろば」をご覧ください。 <http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/>

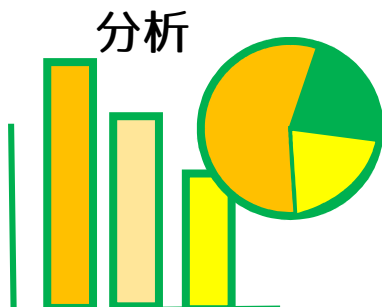
# 課題解決ワークショップって知ってる？

岡山市が抱える社会課題について年齢、職業、所属、価値観などを問わず様々な人が集まり、お互いの問題意識や情報を交換しあいながら協働による解決策を考える場として「課題共有」「課題分析」「課題解決」の3つの工程によるワークショップを実施しています。



共有

グループごとに提案者の問題意識とテーマに関心・関連のある参加者がそれぞれに有する情報を共有します。



分析

課題の原因を解決するために、または現状を改善するために、協働でできることを検討します。



解決

課題の原因を解決するために、または現状を改善するために、協働でできることを検討します。

## 平成30年度課題解決ワークショップテーマ紹介

### 「子どもの貧困の解決について考える」

岡山市では子どもたちの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していくことのできる社会を目指して、関係部署・機関等が連携して子どもの貧困対策を推進しています。

ワークショップでは岡山市の掲げる3つの方針から、市民とともに解決できる仕組みの糸口を探っています。

#### 岡山市子どもの貧困対策方針

早期に、  
確実に  
支援に繋ぐ

困難を  
連鎖  
させない

直面する  
困難を  
解決する



共有



なぜ貧困の解消に行き着いていないのか、「できない理由」と「すでに打たれている施策・事業」の洗い出しを行い、現状の共有をするとともに、話し合うべきポイントを確認！

今後働きかける必要のある課題として、

高校進学時の  
支援



高校中退後の  
支援



学童期の  
学習支援



の3つを絞りこみました。

分析



前回絞りこんだ課題の当事者について分析を行い、課題解決のために、どのような形で働きかけるのが効果的かを考えました。

今後は具体的な課題解決方法について考えていきます！

## 8050（ハチマルゴーマル）問題を考える



ひきこもりが長期におよび、当事者が40代～50代になると親も70代～80代の高齢になり、介護が必要になるなど、より状況が深刻になり、親子ともに生活が立ち行かなくなる状況が「80・50（ハチマルゴーマル）問題」と呼ばれ、社会の関心を集めています。岡山県においても40代以上のひきこもりが多数存在しており、対策が急務となっています。

共有



それぞれの団体がどのような取り組みを行っているかを確認し、取組むべき内容を共有しました。

## 健康寿命延伸のための“働く世代”の健康づくり



医療費・介護費の増加が問題視される中、岡山県は健康寿命の平均値が全国でも決して高くない状況となっています。1人でも多くの岡山県民・岡山市民が健康で長生きができるように、検診受診率の向上、食生活の改善、運動習慣の定着の3つの切り口から健康寿命を延ばすための取組を考えます。

共有



企業・NPO・行政それぞれの取組を共有し、必要な課題について話を広げました。

## 持続可能な地域資産の仕組みづくりについて



少子高齢化の進行にともない、地域で脈々と受け継がれてきた有形無形の「資産」が失われつつあります。伝統芸能、史跡、お祭りなどは地域に対する誇りや愛着を醸成するうえで非常に重要なものであり、「人」「お金」「情報」などをこれまでとは異なる方法で集めたり、動かしたりする方法を考えます。

共有



どうして継承できないのか、を地域の文化に関わるそれぞれの視点で共有しました。

## 「困難を抱える子どもの学習権利の保障」について



学習意欲はあるものの、発達障害や病気など様々な特性や状況から教室での学習が困難な子どもたちがいます。また学習が遅れることにより、さらに教室に戻りにくくなる状況もあります。

共有



NPO（発達障害児支援、病児支援、不登校支援の団体）、行政職員、財団関係者などで、「なぜ学習権利が保障されない状況にあるのか」その原因を様々な立場から意見を出し確認・共有を行いました。





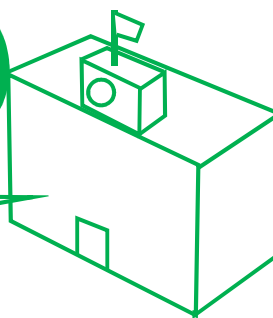
ESD・市民協働推進センターは「協働を推進するためのコーディネート機関」です。人材育成、情報共有および交流機会の創出、社会課題解決のための取り組みの推進などを担います。

相談  
・提案

情報  
収集

事業  
参加

岡山市役所2階に  
あります！



## センターの事業

### (1) 市民協働推進事業

課題解決を進めるために、多様な主体の出会いの機会をつくり協働事業化を支援します。協働の担い手となる主体の発掘・育成を進めます。協働による課題解決の事例を広げ、協働の意義を広めます。



### (2) 地域協働支援事業

地域における課題解決型の取組を支援します。課題解決型の地域活動を生み出し協働のできる地域団体・人材の育成をすすめます。



### (3) ESDプロジェクト普及・促進事業

ESD事業の発掘や活動支援を行い、市民活動へのESDの浸透をはかります



## センターの機能

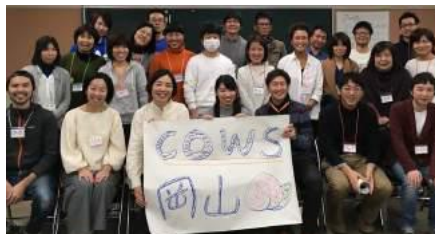
### (1) 協働を生み出す支援

市民や行政からの協働に関する相談を受け、団体のマッチングや、協働事業化の支援をします。



### (2) 担い手の育成

市民活動リーダー・コーディネーター養成、地域活動リーダー養成、協働推進委員、公民館職員研修を行い、人材や団体の育成を行います。



### (3) 広報や啓発

事業の成果報告会や、フォーラムの開催、表彰制度の運営支援をし、協働の成果の共有や、協働の進め方の定着をはかります。



岡山市との協働を希望するNPO関係者、NPOと協働を希望する岡山市職員、学校関係者、岡山市（行政）や市内NPOとの協働を希望する事業者、地域の課題解決を図りたい町内会や市民の方、皆様のご活用をお待ちしております！

### 発行・問合せ：ESD・市民協働推進センター

岡山市北区大供一丁目1番1号岡山市役所2階市民協働局市民協働企画総務課となり  
TEL：086-803-1062 / 070-5055-7589  
E-mail：esd-smc@googlegroups.com